

令和4年度
中学校第1学年
国語

注意

- 1 「始め」の合図があるまで、冊子を開かないでください。
- 2 先生の指示があつてから、組、出席番号、氏名を書いてください。
- 3 問題は、1ページから14ページまであります。
- 4 答えは、すべて解答用紙の所定の欄らんにはつきりと書いてください。

組	出席番号	氏名

1 野中さんは、国語の時間に「最近、思うこと」という題で作文を書きました。次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

町のあじさいが雨にぬれ、しだいにあざやかさを増^①している。私は、あじさいのむらさきや青がだんだんと濃^②くなっていく様子を見るのが好きだ。雨の日は、気持ち落ちこむという人もいるけれど、私は、雨は季節を味わうためになくはならないものの一つだと思う。例えば、「しぐれ」は、秋の終わりから冬の初めにかけて断続^③的に^①ぶる雨のことだ。紅葉した木々をぬらす、やわらかい雨が想像できる。また、「きりさめ」は、きりのようにコマカイ雨のことで、「きりさめにけむる街角で、赤いかさをさした少女が立っている。」と書くと、その場面を詩的に表現できるように思う。、雨を表す言葉にもいろいろあり、それぞれ味わい深いものだと思う。日常のなにげない風景は、日々変化していると思うので、その様子をよくカンサツ^③して、それに合う言葉で表現したい。そのために、季節や天気を表したたくさんの言葉をもっと知って、使えるようになりたい。

一 線部①の漢字は正しい読みをひらがなで、線部②・③のカタカナは漢字に直して、楷書^{かいしよ}でていねいに書きなさい。

二 ~~~~~線部を漢字に書き直したものとして適切なものを、次の1から3までの中から一つ選びなさい。

- 1 細まかい
- 2 細かい
- 3 細い

三 に当てはまる最も適切な言葉を、次の1から4までの中から一つ選びなさい。

- 1 それで
- 2 ところで
- 3 このように
- 4 しかし

春山さんたちは、地域の人から仕事についての話を聞いています。次の【話を聞いている様子の一部】を読み、

【話を聞いている様子の一部】

イ

に入る言葉の組み合わせとして最も適切なものを、あとの1から4までの中から一つ選びなさい。

春山

みなさん、小島さんがア。今日は、花屋さんの仕事について、たくさん教えていただきました。

小島さん、お願いします。

小島

みなさん、こんにちは。

（小島さんの話を聞く）

春山

小島さん、ありがとうございます。小島さんに質問のある人はいますか。

山下

花屋さんは、花を市場で仕入れていると思いますが、毎日仕入れているのですか。

小島

週に二回くらい、花市場で仕入れています。最近では、インターネットでの予約注文ができるので、県外の花市場からも取り寄せることがあります。

秋山

私の祖母がマーガレットという花が好きだとイなのですが、今、小島さんのお店で見せていただくことはできますか。

1

ア 来ました

イ 言っていた

2

ア いらっしゃいました

イ おっしゃっていた

3

ア 来ました

イ おっしゃっていた

4

ア いらっしゃいました

イ 言っていた



田丸さんは、国語の時間に、小学校で学習した茶つみについて、スピーチをすることにしました。次は、田丸さんがスピーチのために参考にした【茶つみの歌詞】、調べたことをまとめた【田丸さんの調べたこと】、【スピーチ原稿の一部】です。これらを読んで、あとの問いに答えなさい。

【茶つみの歌詞】

茶つみ

夏も近づく八十八夜
野にも山にも若葉がしげる
あれに見えるは
茶つみじゃないか
あかねだすきにすげのかさ

ひよりつづきの今日このごろを
心のどかにつみつ歌う
つめよ つめつめ
つまねばならぬ
つまにや日本の茶にならぬ



茶つみの様子



(注) あかねだすき＝茶つみをする人が、肩からかけている赤い色のたすき。すげ＝かさやみの、しめなわなどに用いられる植物。

【田丸さんの調べたこと】

八十八夜（はちじゅうはちや）
立春から八十八日目。五月一日～二日ごろにあたり、春と初夏のさかいめの日とされる。ちょうど八十八夜のころ、茶畑には新しい葉が広がる。その葉をつんで、年の最初の茶、新茶がつけられる。新茶は、昔からかおりや味がよいと人々に喜ばれてきた。

立春（りっしゅん）

こよみの上で、春が始まる日。二月四日ごろで、節分の翌日にあたる。

ひより

- ① 天気。空模様。
- ② 晴れたよい天気。また、そのことをするのにちようどよい天気。

今日は、茶つみについてスピーチをします。

なぜ私が茶つみについてスピーチをしようと思ったのかというと、妹たちがこの歌を歌いながら、手遊びをしていたからです。この「茶つみ」という歌は、みなさんも覚えていないと思いますが、小学三年生で学習をします。久しぶりにこの歌を聞いていて、私の知らない言葉がいくつかあることに気がつき、「茶つみ」に出てくる言葉や茶つみのことを調べることにしました。

茶つみとは、ここでは日本茶をつくるために、茶の木の若葉などをつみとることです。この曲の歌詞のなかで、八十八夜という言葉が出てきます。

りは、晴れたよい天気のこと、茶つみの日はこのひよりの日選ばれているそうです。

さて、みなさん、このイラストを見てください。これは、「茶つみ」の歌詞にも出てきたあかねだすきをした人が、すげのかさを付けて、茶つみをしているところです。

かつて茶つみがさかんに行われていたところでは、このような服装で茶つみをしていたので、その情景が歌にまかれたといわれています。

最初に手遊びの話をしました。中山さんと実演してみます。みなさんも、もしかしたら一度はこの手遊びをしたことがあるかもしれないですね。このように、「茶つみ」という歌は、多くの人たちが知っているし、手遊びになるくらい、人々の間で親しまれている歌だといえるでしょう。

「茶つみ」は、明治時代の小学校から音楽の時間に歌われはじめ、現在も小学校で歌われている歌です。また、手遊び歌として世代をこえて歌いつがれる数少ない歌ともいえます。曲を流します。

このように歌いつがれてきた歌を、これからも大切にしていきたいと思えます。他にも、多くの人々がなじみ親しんでいる歌を探してみようと思えました。

資料の提示と実演

イラストを出す

実演

曲（茶つみ）を流す

一 田丸さんが、イラストの提示や実演を行ったり、音楽を流したりした意図について、最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選びなさい。

- 1 資料の提示や実演を効果的に行うことで、テーマについて理解を深めてもらうため。
- 2 資料の提示や実演をくり返し行うことで、テーマについて疑問をもってもらうため。
- 3 スピーチを相手の反応を見ながらすすめ、自分と社会との関係を考えてもらうため。
- 4 スピーチを相手の反応を見ながらすすめ、自分の意見との違いを出してもらうため。

二 次は、「スピーチ原稿の一部」の [] に入る文章です。 [ア] ・ [イ] に当てはまる言葉を書きなさい。ただし、 [ア] は二字でぬき出し、 [イ] は【田丸さんの調べたこと】の言葉を用いて三十字以上、四十字以内で書くこと。

八十八夜とは、

[ア]

から数えて八十八日目のことです。このころ、茶畑には新しい葉が広がり、

[イ]

。

三 次は、田丸さんがスピーチをするために書いた【スピーチメモ】です。ア・イ・ウに当てはまる言葉の組み合わせとして最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選びなさい。

【スピーチメモ】

- ア 妹たちの手遊び
- イ 八十八夜とひより
- ウ あかねだすきとすげのかさ
- 明治時代の小学校から歌いつがれている

4 ア きっかけ

3 ア きっかけ

2 ア 主張

1 ア 主張

イ 歌詞

イ 季節

イ 歴史

イ 天候

ウ 歴史

ウ 時代

ウ 天候

ウ 季節

4

葉山さんと川原さんは、鳴門なるとのうず潮について、それぞれ調べたことをパンフレットにまとめています。これらを読んで、あとの問いに答えなさい。

【葉山さんのパンフレット】

(情報誌「鳴門やけん」他より作成。)

(情報誌「鳴門やけん」他より作成。)

一 【葉山さんのパンフレット】の「紀伊水道側が引き潮になったときの海水の動き」の A から D に当てはまる言葉の組み合わせとして最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選びなさい。

- | | | | | | | | | |
|---|---|-----|---|-----|---|-------|---|-------|
| 1 | A | 満ち潮 | B | 引き潮 | C | 速い流れ | D | おそい流れ |
| 2 | A | 満ち潮 | B | 引き潮 | C | おそい流れ | D | 速い流れ |
| 3 | A | 引き潮 | B | 満ち潮 | C | 速い流れ | D | おそい流れ |
| 4 | A | 引き潮 | B | 満ち潮 | C | おそい流れ | D | 速い流れ |

二 次の1から3までの問いについて、【葉山さんのパンフレット】から答えが分かるものはA、【川原さんのパンフレット】から答えが分かるものはB、どちらからも分からないものはCのいずれかを、それぞれ書きなさい。

- 1 大潮は、どうして起こるのか。
- 2 鳴門海きょうの海底までの深さとうず潮は、どのような関係があるか。
- 3 鳴門とあわ路島を結ぶ連らく船は、いつごろからあったのか。

三 川原さんは、作成しているパンフレットの の部分を書くために、次の【資料1】・【資料2】を読んで、あ
ることに気がつき、それを に書くことにしました。あなたなら、どのように書きますか。あとの条件1・条件2
に従って書きなさい。

【資料1】

(ウェブページ「自然に魅せられて『タカの渡りを追う』」他より作成。)

【資料2】

条件1 タカが、鳴門海きようを飛行ルートとして選ぶ理由を、【資料1】・

【資料2】を関連づけて書くこと。

条件2 「それはタカが、」から書き始め、「といわれています。」に続く形
になるように、「鳴門海きよう」という言葉を用いて、三十五字以上、
四十五字以内で書くこと。

(ウェブページ「野鳥撮影カレンダー」他より作成。)

5

山野さんは紹介したい本として、歴史小説家である司馬遼太郎の「二十一世紀に生きる君たちへ」を選び、紹介カードを書くことにしました。次の【本の一部】、【本の紹介カード】を読んで、あとの問いに答えなさい。

【本の一部】

(司馬 遼太郎「二十一世紀に生きる君たちへ」より。一部省略等がある。)



- 1 関心
- 2 期待
- 3 満足
- 4 不安

本文の には同じ言葉が入ります。当てはまる言葉として最も適切なものを、次の1から4までのの中から一つ選びなさい。

作品名
「二十一世紀に生きる君たちへ」

筆 者 司馬 遼太郎

(A)
におすすめ

歴史小説家である筆者が、未来を創る子供たち、
そしてすべての人々へ贈るメッセージ!

〈心に残ったメッセージ〉

B

〈心に残ったメッセージから考えたこと〉

C

【本の紹介カード】

二 次の一文は、本文の **1** から **4** のいずれかに入ります。最も適切な番号を一つ選んで書きなさい。

人間は助け合って生きていくのである。

三 山野さんは、【本の紹介カード】の（ A ）で、どういう人におすすめなのかを書くことにしました。当てはまる言葉として最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選びなさい。

- 1 歴史にくわしくなりたい人
- 2 なつかしい時間を味わいたい人
- 3 自分の生き方を見つめ直したい人
- 4 日本と世界の自然について知りたい人

四 山野さんは、【本の紹介カード】に【本の一部】から、作者からのメッセージと思われる部分をぬき出し、それについて自分の考えを書こうとしています。あなたが山野さんなら、どのように書きますか。次の条件1・条件2に従って書きなさい。

条件1 【本の紹介カード】のBには、あなたが作者からのメッセージとして、最も心に残った部分を、【本の一部】から、二十字以上、四十字以内でぬき出して書きなさい。

条件2 【本の紹介カード】のCには、Bについてあなたが考えたことを五十字以上、八十字以内で具体的に書きなさい。

